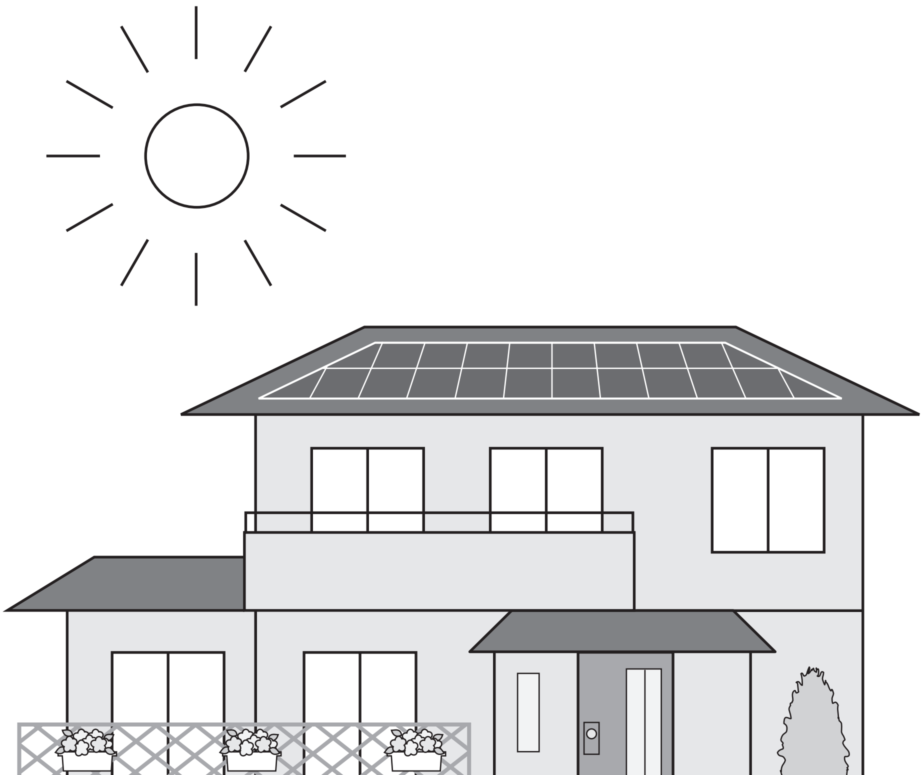
SHARP

保証書付

取扱説明書
住宅用
太陽光発電システム

- 太陽電池モジュール
- パワーコンディショナ
  JH-M801（屋内用）
- 接続箱 SZ-41JB



サンビスタ
SUNVISTA
住宅用太陽光発電システム

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

- ●製造番号はアフターサービス上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書（３１ページ）に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- ●保証書（３１ページ）は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- ●取扱説明書は、必ず保管してください。

本書の見かた

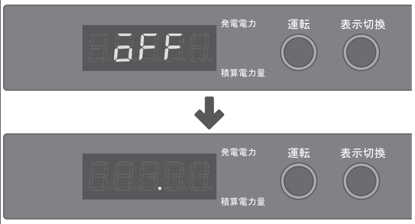
本書内では操作手順について次のように表記しています。

1 運転 ◯を押して「オン」にします。

連系運転モードで停止しているときは、「off」と表示しています。

2 「off」→「.」を経て連系運転（発電）を開始します。

運転を開始すると、連系ランプが点灯します。



メモ

- 太陽電池が発電していない場合、連系運転を開始できません。停電などで電力会社から正常に電気が供給されていない場合は、自立運転を開始します。（12ページ）
- 停電から回復した場合は、約5分後に運転を開始します。

操作イラスト
操作手順をイラストで説明しています。

補足説明
操作に関する補足事項を説明しています。

操作手順
基本的な操作を説明しています。

メモ
制約事項や、便利で役立つ内容を説明しています。

ご注意
本製品を傷つけたり、故障させる危険がある内容について説明しています。

当商品は、日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

もくじ

本書の見かた......表紙裏
安全にお使いいただくために......2

本製品のしくみ

本製品について......4
　住宅用太陽光発電システムについて......4
　電力と電力量......6
　売り電力（売電）と買い電力（買電）......7
各部のなまえとはたらき......8
　接続箱......8
　パワーコンディショナ......9

運転操作方法

パワーコンディショナの運転操作......10
　連系運転モード......10
　　1日の運転状態......10
　　連系運転中に運転を停止する......11
　　連系運転を再開する......11
　自立運転モード......12
　　自立運転を開始する......13
　　自立運転を停止する......14
　　自立運転モードの注意点......14
　　自立運転から連系運転に切り替える......15

発電状況を見る

電力量表示を切り替える......16
　表示を確認する......16
　ユーザー積算電力量をリセットする......17

故障かなと思ったら

こんな症状が出たときは......18
こんな表示が出たときは......19
　抑制状態表示について......19
　　電圧上昇抑制機能......19
　エラー表示について......20
　エラーコード一覧......21
　　「d-XX」という表示の場合......21
　　温度上昇抑制機能について......22
　　「E-XX」という表示の場合......22
　　「F-XX」という表示の場合......23
　　「P-XX」という表示の場合......23
　パワーコンディショナを再起動する......24
　過去のエラーの確認方法......24
パワーコンディショナを緊急停止する......25
停電したときは......26

その他

お手入れのしかた......27
お問い合わせは......28
アフターサービスについて......29
保証書......30
用語集......33
索引......35
仕様......別刷

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口まで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

右記は絵表示の一例です。

⚠ **記号は、気をつける必要があることを表わしています。**

⃠ **記号は、してはいけないことを表わしています。**

❗ **記号は、しなければならないことを表わしています。**

⚠警告

● **異常のままで放置しておくと危険です。**
以下の場合には、ただちにパワーコンディショナの運転を停止（25ページ）して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
・パワーコンディショナから煙が出たり、変な音やにおいがするなどした場合
・太陽電池モジュールが飛来物などで破損や落下した場合
尚、停止した後、パワーコンディショナ、太陽電池モジュールにはさわらないで下さい。感電・けがの恐れがあります。

● **自立運転用コンセントに以下の製品をつながない。**
自立運転時の発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止しますので、途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある以下の機器はご使用にならないでください。
・すべての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器
・パソコン、ワープロ等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具
・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受ける恐れのある機器

● **自立運転出力を商用電力線につながない。**
自立運転用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで接続しない。
感電・発火・発煙の恐れがあります。

● **自立運転用コンセントには、自立運転時以外は電気機器を接続しない。**
熱を発生する電気機器等のスイッチがONの状態で接続されている場合、発火の恐れがあります。

● **自立運転用コンセントには、コンセントプラグ以外を挿入しない。また、コンセントプラグは自立運転用コンセントへ確実に接続する。**
感電・発火・発煙の恐れがあります。

● **パワーコンディショナの近くに燃えやすいもの、ストーブなどの発熱物を置かない。また、パワーコンディショナに可燃性スプレーを吹き付けない。**
発火・発煙の恐れがあります。

● **冠雪、冠水のおそれのある場所には設置しない。万一、冠水した場合はただちにパワーコンディショナの専用ブレーカーを切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。**
発火・感電・けがの恐れがあります。

● **パワーコンディショナの正面のパネルを開けない。**
感電の恐れがあります。

● **パワーコンディショナ、接続箱は、住宅用太陽光発電用以外には使用しない。**
安全が保証できなくなり危険です。

● **雷が鳴り出したらパワーコンディショナ、接続箱、ケーブルに触れない。**
感電の恐れがあります。

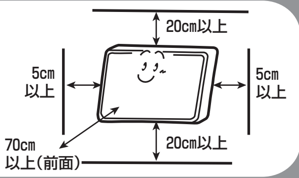
● **太陽電池、パワーコンディショナ、接続箱に接続されているアース線は外さない。**
発火・感電・けがの恐れがあります。

⚠警告

- **パワーコンディショナの天面・底面の通風口をふさがない。**
  内部の放熱が不十分となり、発煙・発火の恐れがあります。
- **パワーコンディショナ、接続箱付近に湯気・水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガスを出す機器を置かない。**
  絶縁性が悪くなり、発火・感電の恐れがあります。
- **パワーコンディショナ、接続箱の中に物を入れない。**
  発火・感電・けがの原因になります。
- **パワーコンディショナ、接続箱、ケーブルの分解、改造、加工や、ご自身での取り付け、取り外し、修理をしない。**
  感電・けがの恐れがあります。
- **太陽電池、パワーコンディショナ、接続箱付近で薬剤散布をしない。**
  絶縁性が悪くなり、発火・感電の恐れがあります。
- **接続箱の底面の両角にある水抜き穴（2個）はふさがない。**
  内部に水がたまり絶縁性が悪くなり、発火・感電の恐れがあります。

⚠注意

- **パワーコンディショナの周辺（上下20cm、左右5cm以内）、接続箱の周辺（上下20cm、左右30cm以内）に物を置かない。**
  本来の性能が発揮できなくなります。
  また、点検時の作業のため、前面70cm以内に物を置かない。



- **パワーコンディショナ、接続箱は、高温になる場所または、締め切った狭い場所で使用するような状態にしない。**
  発電量低下の可能性があるとともに、部品が劣化して発煙・焼損する恐れがあります。
- **ラジオ、テレビなど、電波を利用する機器はパワーコンディショナに近づけない。**
  機器への受信障害の原因になります。
- **パワーコンディショナ、接続箱を薬品(シンナー等)や、ぬれた雑布で拭かない。**
  内部に水が入り、感電・漏電・焼損する恐れがあります。
- **パワーコンディショナ、接続箱を塗装しない。**
  ケース内温度が異常に上昇し故障の原因になります。
- **アンテナや木など太陽電池モジュールに影がかかるような状態にしない。**
  発電量低下の原因になります。
- **太陽電池モジュールのケーブルを引張ったり、曲げたり等、ケーブルにダメージを与えない。**
  断線や漏電の恐れがあります。
- **太陽電池モジュールのガラス面に乗らない。雪かきをしない。**
  故障の原因になります。また、ガラスが割れて、感電・漏電・けがの恐れがあります。
- 長く上手にご使用いただく為に、定期点検契約されることをおすすめします。ご購入いただいた販売店にご相談ください。
- **通電中や電源を切った直後はパワーコンディショナの天面部に触らない。**
  高熱のためやけどの恐れがあります。
- **濡れた手で自立運転用コンセントにコンセントプラグを抜き差ししない。**
  感電の恐れがあります。
- **パワーコンディショナ、接続箱の上に乗ったり、ぶらさがったり、物を置いたりしない。**
  落下・転倒・けがの恐れがあります。
- **太陽電池モジュールに物を接触させない。（布団をかけるなど）**
  発電量の低下や故障（発熱）の原因となります。可燃物の場合には焼損の原因となります。
- **太陽電池モジュールのガラス面に物を投げたり、落としたりしない。**
  ガラスが割れたり、故障の原因になります。
- 台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかサービス会社またはお買い上げの販売店にご相談ください。

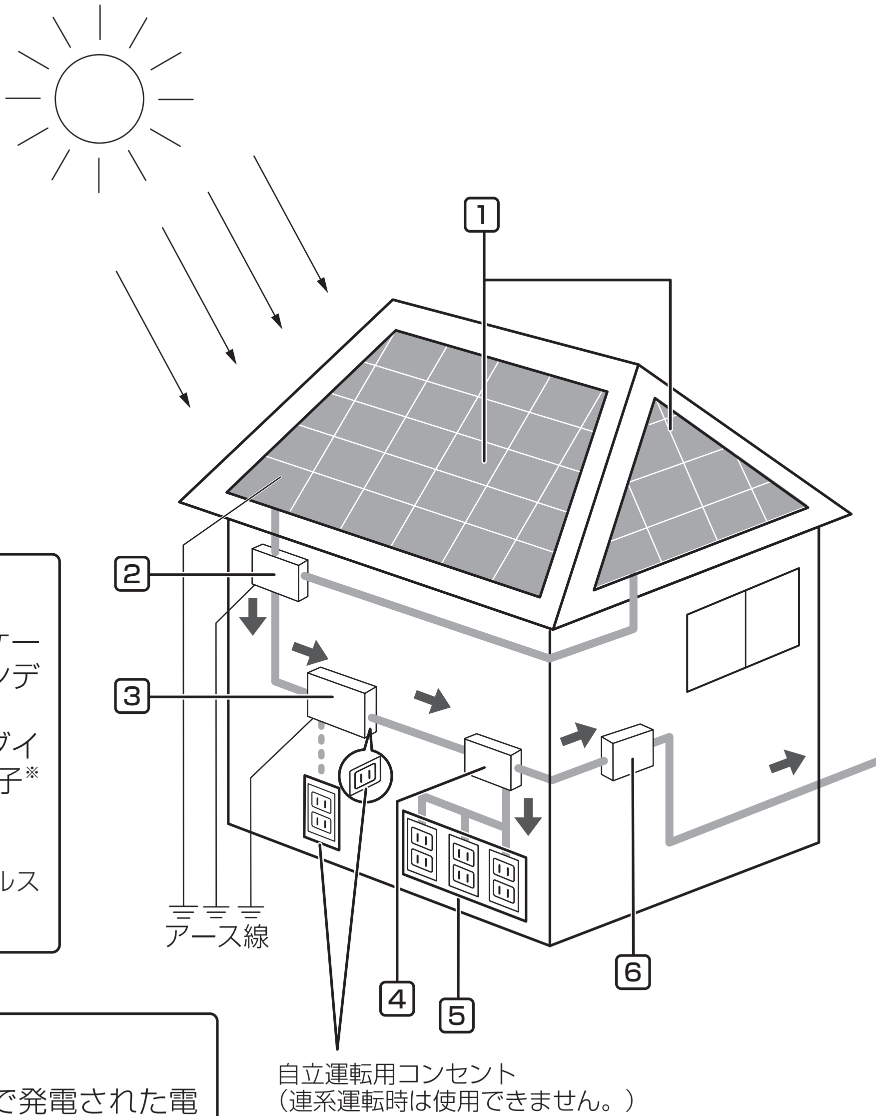
本製品について

本製品は、自宅の屋根などに設置した太陽電池で暮らしに必要な電気を発電する太陽光発電システムです。太陽光発電システムはパワーコンディショナで運転を管理されています。

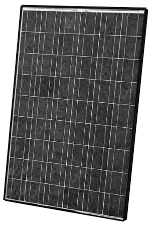
住宅用太陽光発電システムについて

住宅用太陽光発電システムは、自宅の屋根などに設置した太陽電池で暮らしに必要な電気を発電します。電力会社の配電する商用電力と系統連系することによって発電した電気が余った場合は電力会社に売り（売電）、発電した電気が不足した場合には電力会社から買う（買電）ことができます。必要な電力を確保しつつ、発電した電気を無駄なく活用することができる合理的なシステムです。

例：日中の連系運転時

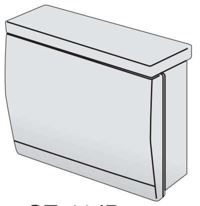


1 太陽電池モジュール



太陽の光を受けて電気をつくります。

2 接続箱（屋外）



SZ-41JB

太陽電池アレイからのケーブルを集めてパワーコンディショナへつなぎます。
直流開閉器、逆流防止ダイオード、サージ吸収素子※を内蔵しています。

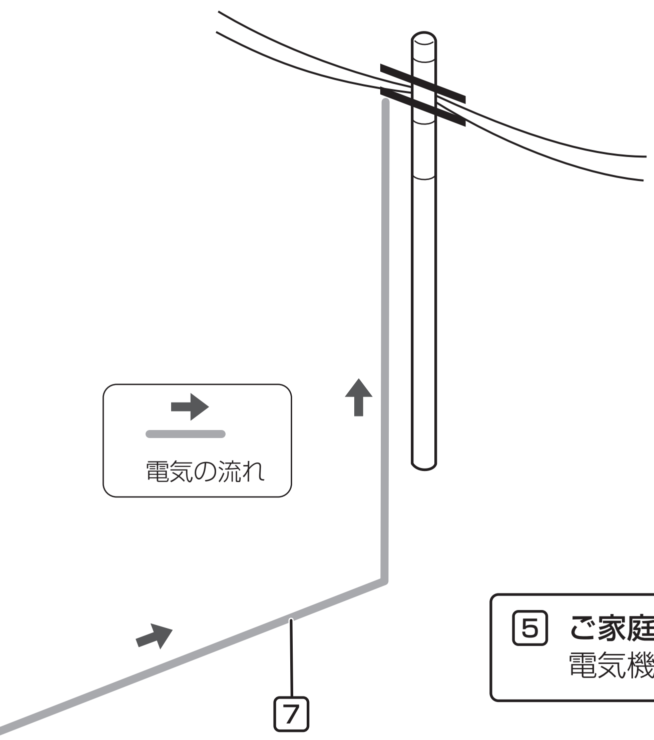
※雷などによる突発的なパルスサージ電流を吸収します。

3 パワーコンディショナ（屋内）

JH-M801

太陽電池モジュールで発電された電気（直流）を交流に変換します。
太陽光発電システム全体の運転を管理します。
前面の操作・表示部では、パワーコンディショナの運転操作を行うとともに、現在の発電状況や過去の発電データを表示します。

7 余った電気を電力会社に送り（売り）ます。



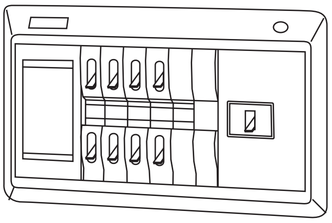
6 電力量計※

売った電力量と買った電力量をそれぞれの電力量計で計量します。

※電力量計は有効期限があり、定期的に交換が必要です。お住まいの地域によっては売電電力量計の交換費用がお客様負担の場合があります。交換に関しては、電気工事店または電力会社にお問い合わせください。

5 ご家庭のコンセント
電気機器を接続して使用します。

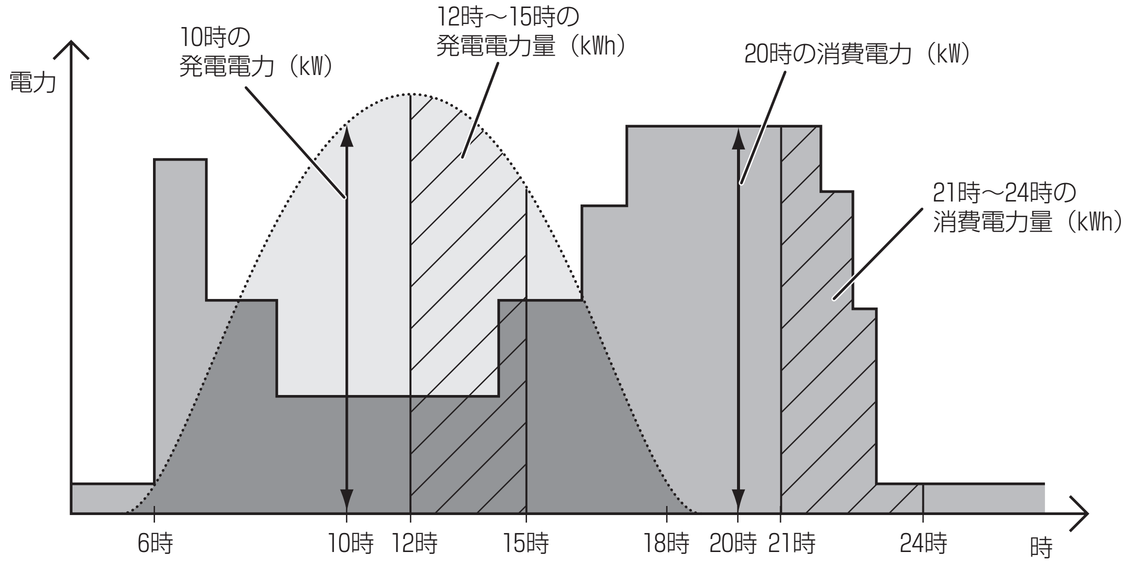
4 屋内分電盤



変換した電気をご家庭のコンセントに分配します。
余った電気を電力会社に送り（売り）ます。

電力と電力量

電力は、時々刻々変化するある瞬間における値です。単位は「kW」（キロワット）で表します。
電力量は、時々刻々変化する電力のある期間の合計値です。単位は「kWh」（キロワットアワー）で、例えば2kWの電気を3時間使い続けた場合、2（kW）× 3（h）＝ 6（kWh）の消費電力量となります。



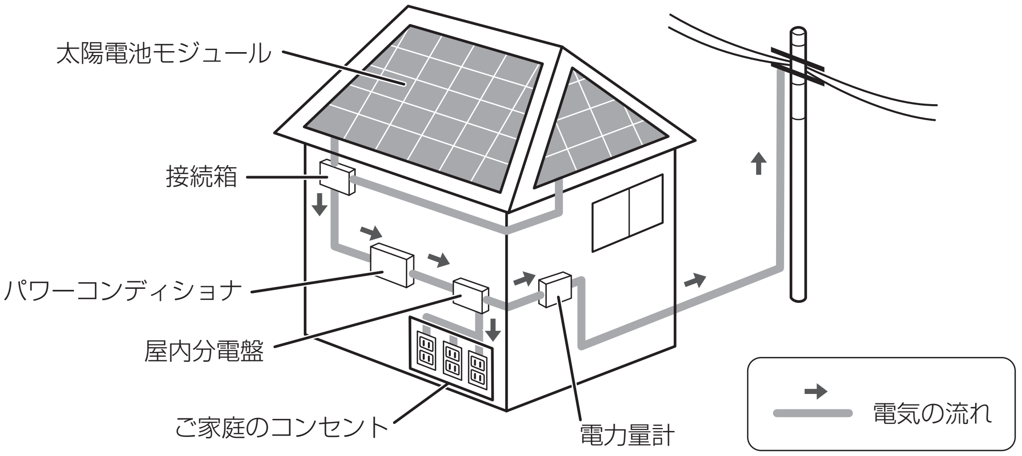
発電電力と家庭内消費電力の1日の推移例

売り電力（売電）と買い電力（買電）

連系運転時、昼間に多く発電し余った電力が自動的に電力会社に送られている状態を売電状態、発電しない夜間や雨などで発電電力が少ない時に電力会社から電力の供給を受けている状態を買電状態といいます。

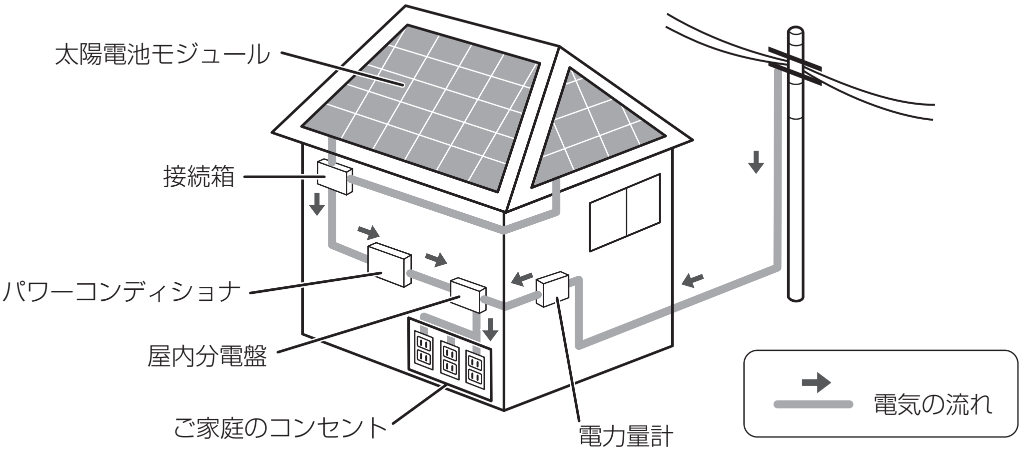
売り電力（売電）状態

太陽光発電の発電電力がご家庭の消費電力より大きい場合、余った電力を電力会社に売ります。

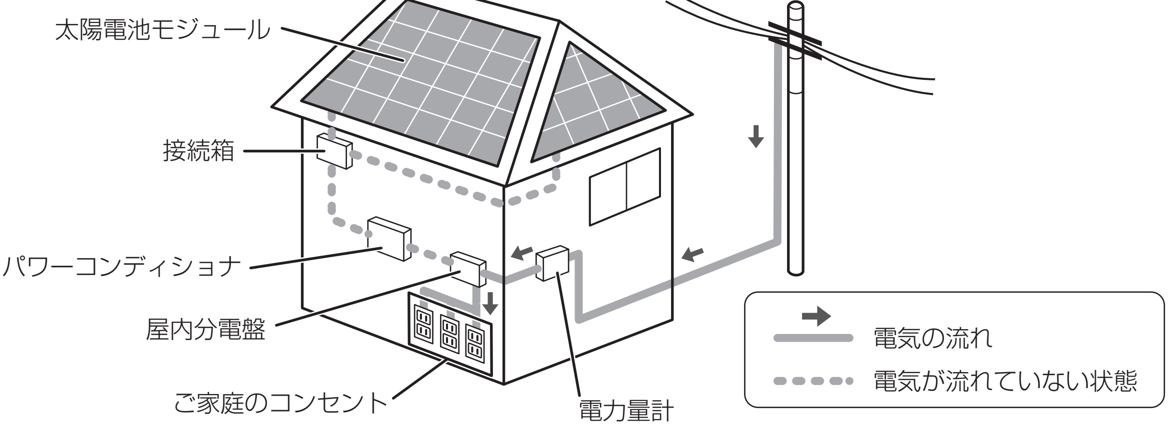


買い電力（買電）状態

太陽光発電の発電電力がご家庭の消費電力より小さい場合、不足分の電力を電力会社から買います。

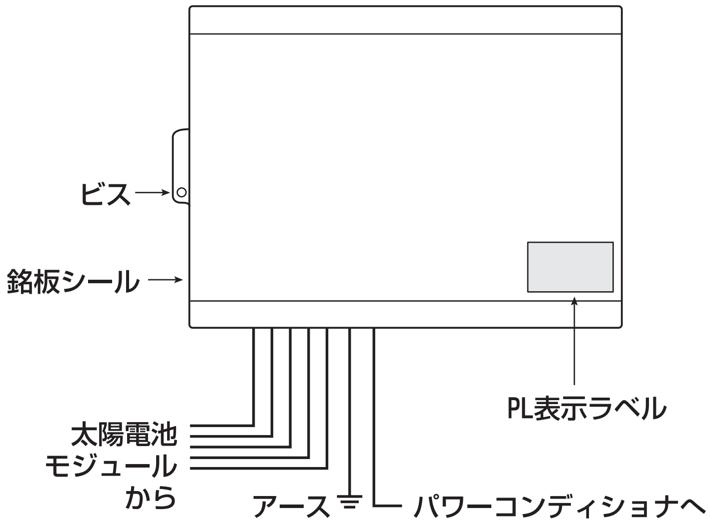


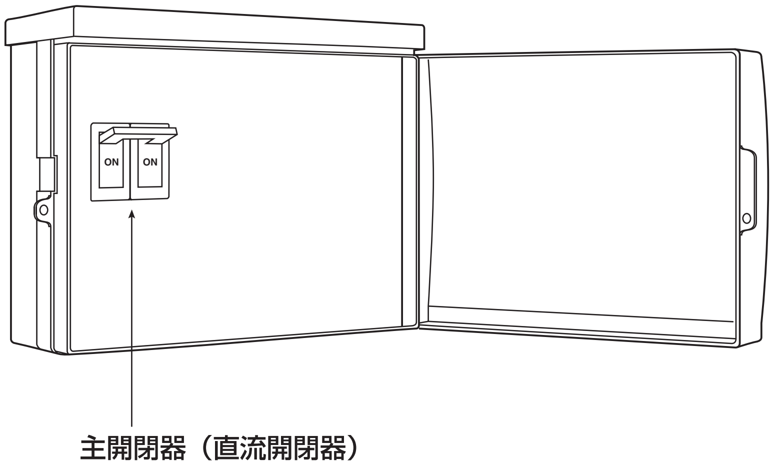
夜間や雨天などで太陽光発電が行われていない場合、電力を電力会社から買います。



接続箱

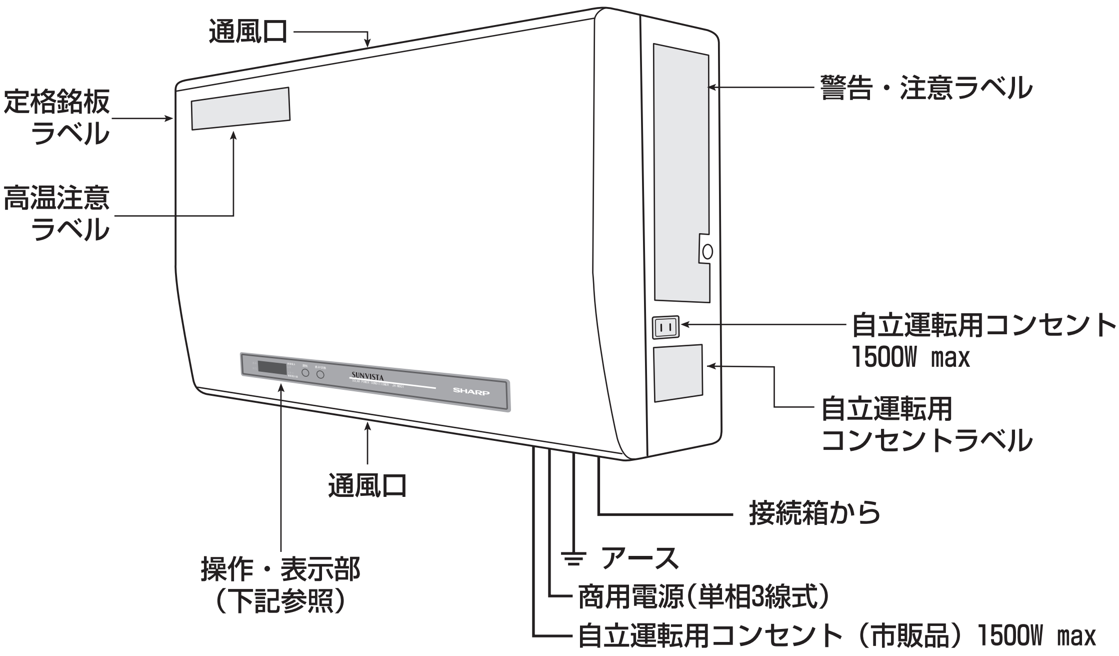
本体／配線図


ビス
銘板シール
PL表示ラベル
太陽電池
モジュール
から
アース
パワーコンディショナへ

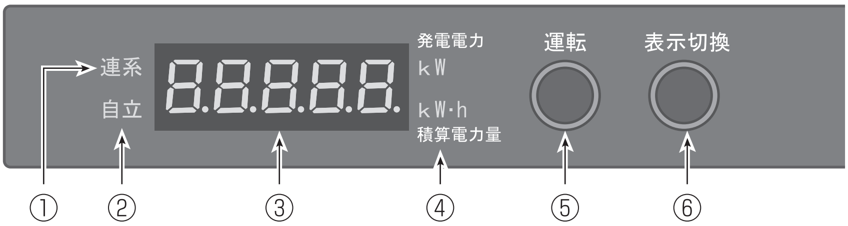

ON
ON
主開閉器（直流開閉器）

パワーコンディショナ

本体／配線図



操作・表示部



	なまえ		はたらき
①	連系ランプ（青）		連系運転中に点灯します。（10ページ）
②	自立ランプ（黄）		自立運転中に点灯します。（12ページ）
③	ディスプレイ		発電電力、積算電力量、エラーコード、カウントダウンなどを表示します。
④	電力表示識別ランプ（緑）	発電電力／kW	現在の発電電力を表示しているときに点灯します。（16ページ） 電圧上昇抑制機能がはたらいているときは点滅します。（19ページ）
		積算電力量／kW・h	総積算電力量、ユーザー積算電力量を表示しているときに点灯します。（16ページ） 電圧上昇抑制機能がはたらいているときは点滅します。（19ページ）
⑤	運転スイッチ 「オン」状態　「オフ」状態		パワーコンディショナの運転スイッチです。 このスイッチにより、パワーコンディショナの運転／停止を切り替えます。 停電中（またはパワーコンディショナ用ブレーカーが「切」のとき）に運転スイッチを「オン」にすると自立運転になります。
⑥	表示切換スイッチ		ディスプレイには通常発電電力が表示されていますが、表示切換スイッチを押すごとに、表示を「電圧上昇抑制動作積算時間」→「総積算電力量」→「ユーザー積算電力量」の順に切り替えます。（16ページ）

パワーコンディショナの運転操作

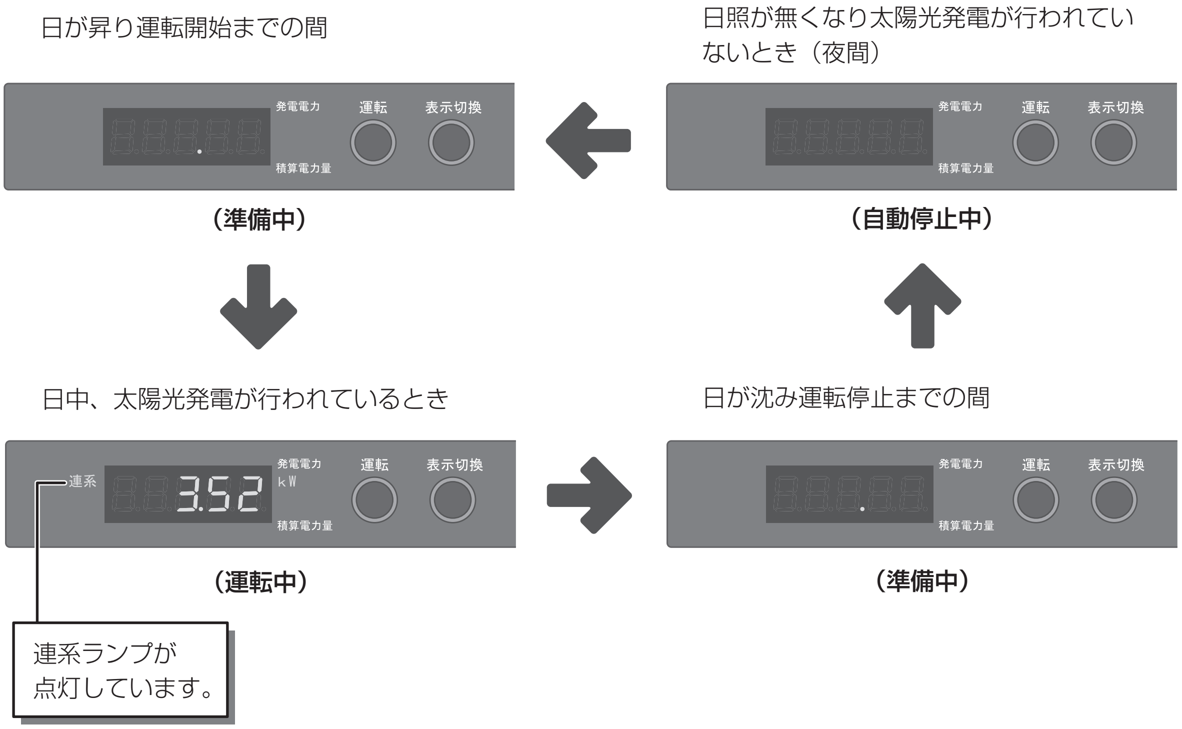
ここでは、パワーコンディショナの運転開始や停止などの操作方法と運転モードを切り替える方法について説明します。

連系運転モード

パワーコンディショナは通常、運転 を押して「オン」にしておき、連系運転モードで運転します。連系運転モードで運転しているときは、日の出とともに自動的に運転を開始し、日の入りとともに自動的に停止します。特に操作する必要はありません。
また、連系運転モードでは、日中は発電して余った電力を電力会社に売り、夜間や発電電力が少ない雨の日などは電力を電力会社から購入します。特に操作する必要はありません。

1日の運転状態

連系運転モードで通常運転しているとき（運転 が常に「オン」の状態のとき）、1日の運転状態は次のようになります。



連系運転中に運転を停止する

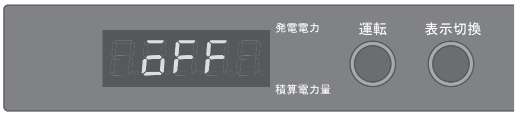
連系運転中または連系準備中に運転◯を押して「オフ」にすると運転を停止します。

1 **運転◯を押して「オフ」にします。**

運転中は連系ランプが点灯しています。

2 **運転を停止します。**

運転が停止すると連系ランプが消灯し、「off」と表示します。



連系運転を再開する

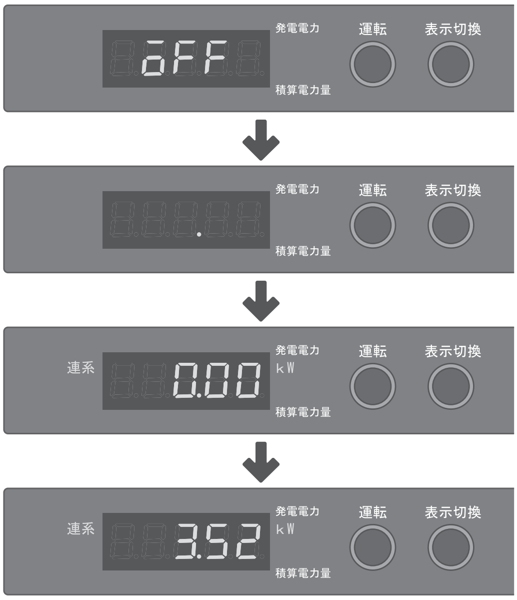
運転停止中に運転◯を押して「オン」にすると運転を再開します。

1 **運転◯を押して「オン」にします。**

連系運転モードで停止しているときは、「off」と表示しています。

2 **「off」→「.」を経て連系運転（発電）を開始します。**

運転を開始すると、連系ランプが点灯します。



メモ

- 太陽電池が発電していない場合、連系運転を開始できません。停電などで電力会社から正常に電気が供給されていない場合は、自立運転を開始します。（12ページ）
- 停電から回復した場合は、約5分後に運転を開始します。

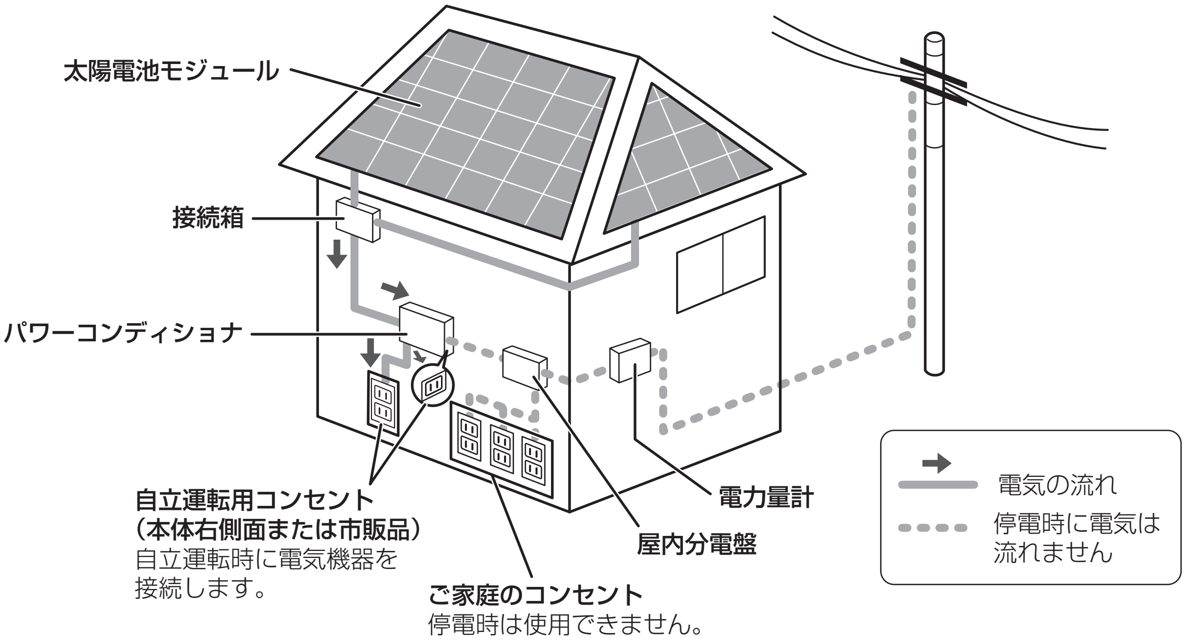
自立運転モード

自立運転モードは、太陽光発電で発電した電気を自立運転用のコンセントに供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。
自立運転モードでは、発電した電力が自立運転用コンセントに接続されている機器の消費電力より大きな場合のみ運転することができます。
自立運転を行う場合、自立運転モードの注意点（14ページ）をよくお読みになって正しくお使いください。
自立運転用コンセントは本製品に１個付属していますが、別途設置することもできます。設置するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

自立運転モードは、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。 停電が回復したときは、連系運転モードに切り替えてください。（15ページ）

自立運転モード時（停電時）の電気の流れ

自立運転時は太陽電池モジュールで発電した電気を自立運転用コンセントで使用します。



自立運転を開始する

停電が発生し電力会社から電気の供給が止まるとパワーコンディショナの運転を停止し、ディスプレイにエラーコードを表示して停電が発生したことをお知らせします。

停電時のディスプレイの表示

停電が発生したことをエラーコードで表示します。
停電の場合は「F-15」と表示されます。

このときに、下記の操作を行うことで自立運転を開始します。
自立運転でお使いになる電気機器は自立運転用コンセントに接続してください。（9ページ）

ご注意

連系運転が可能な状態のときに自立運転を行いたい場合は、分電盤の中にあるパワーコンディショナ専用ブレーカーを「切」にしてから運転開始の操作を行ってください。（25ページ）

停電時における自立運転への切り替えかた

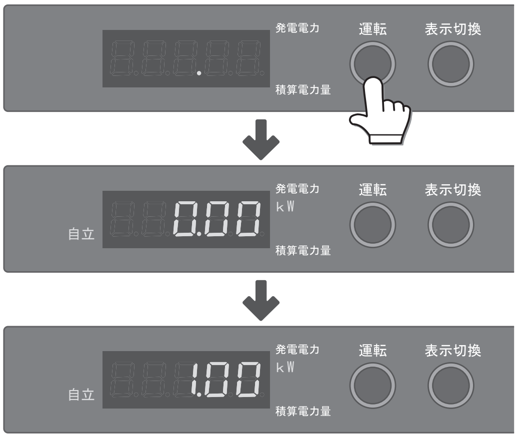
1 自立運転用コンセントに、お使いになる機器を接続します。

2 運転 を押して「オフ」にします。

3 運転 を押して「オン」にします。

運転を開始すると、自立ランプが点灯します。

発電電力（自立運転用コンセントに接続されている機器が消費している電力）を表示します。



メモ

太陽電池が発電していない場合、すべての表示は消灯しています。この場合、自立運転は行えません。

自立運転を停止する

自立運転中に運転を押して「オフ」に切り替えると運転を停止します。

メモ

運転中は自立ランプが点灯しています。運転が停止すると自立ランプが消灯します。

自立運転モードの注意点

太陽電池が発電していないときは使用できません。

夜間など発電できないときは、自立運転モードで運転できません。

自立運転用コンセントを使用してください。

自立運転モードは、自立運転用コンセントのみに発電電力が供給されます。
停電時にその他のコンセントは使用できません。

発電電力より消費電力が小さな機器を使用してください。

太陽光発電で発電した電力よりも自立運転用コンセントに接続した機器の消費電力が大きな場合、自立運転モードで運転できません。
自立運転用コンセントで使用できる電力は最大で1500Wまでです。消費電力が1500Wまでの電気機器をご使用ください。（AC100V　最大15A以内）
モータで動作する電気機器の中には、動作開始時に突入電流が流れて動作できないものがあります。（掃除機、冷蔵庫、ドライヤ、電気ドリルなど）また、これらの機器を使用すると、保護機能がはたらき停止することがあります。

使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。

太陽光発電で発電した電力のみを使用するため天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。

自立運転モードで自動停止した翌朝に停電が回復していない場合、日の出を迎えても自動的には運転を開始しません。翌朝に停電が回復している場合、自動的に連系運転を開始します。

自立運転を行う場合は、運転を押して「オフ」にし、再度運転を押して「オン」に切り替えて自立運転を開始してください。（13ページ）

⚠ 警告

自立運転用コンセントに以下の製品をつながないでください。

自立運転時の発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある以下の機器はご使用にならないでください。

- すべての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器
- パソコン、ワープロ等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具
- その他、電源が切れると生命や財産に損害を受ける恐れのある機器

自立運転から連系運転に切り替える

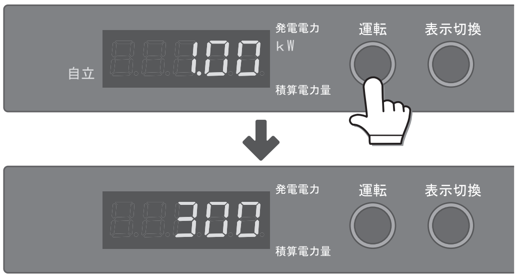
停電が回復した場合など、電力会社からの電力供給が正常になったときは、下記の操作を行うことで連系運転に切り替わります。

ご注意

分電盤の中にあるパワーコンディショナ専用ブレーカーを「切」にして自立運転を行っている場合は、ブレーカーを「入」にしてから操作してください。

1 自立運転モード時に (運転) を押して「オフ」にします。

(運転) を押して「オフ」にすると自立ランプが消灯し、運転が停止します。
カウントダウンタイマーが表示され、約5分間停止状態が続きます。

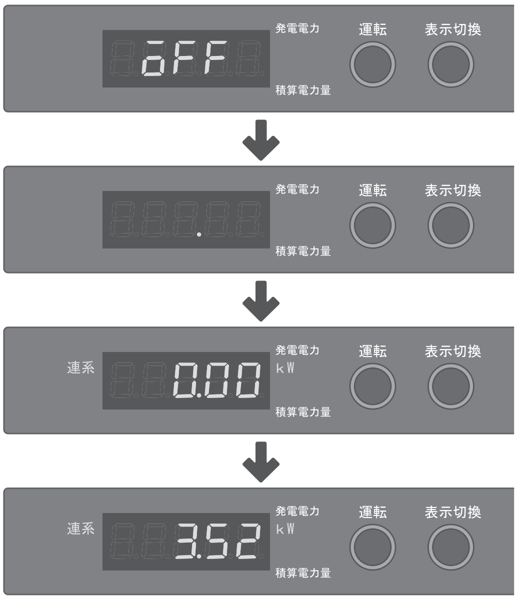


2 (運転) を押して「オン」にします。

(運転) を押して「オン」にすると、連系運転モードに切り替わります。

3 「off」→「.」を経て連系運転（発電）を開始します。

運転を開始すると、連系ランプが点灯します。



メモ

- 自立運転モードで自動停止した翌日に停電が回復している場合、自動的に連系運転に切り替わります。
- (運転) を押して「オン」にした際、F-09が表示されますが異常ではありません。

電力量表示を切り替える

通常運転中は、パワーコンディショナのディスプレイに現在の発電電力（kW）を表示しています。（夜間はパワーコンディショナの運転が停止しているため発電電力は表示されません。）

電圧上昇抑制動作積算時間や積算電力量を見るときは、表示切換 を押して、見たい値を表示させます。

表示を確認する

電力量表示は、運転 が「オン」のときに確認することができます。

発電電力

1回押す

運転中（日中）は、現在発電中の発電電力（kW）を表示します。

- 連系ランプと電力表示識別ランプ（発電電力／kW）が点灯します。
- 夜間（発電していないとき）は、すべての表示が消灯しています。

電圧上昇抑制積算時間

1回押す

運転中に電力会社から供給される電気の電圧が高くなった場合に、パワーコンディショナの出力を抑制した時間の積算値を表示します。（19ページ）

- 運転中（日中）は、電力表示識別ランプ（発電電力／kW）が消灯します。
- 最上位桁が「t」（ｔ）と表示されます。
- 積算時間が9999（時間）を越えると0に戻ります。

総積算電力量

1回押す

太陽光発電システムで初めて発電を開始してから現在までの発電電力量（積算値）を表示します。

- 電力表示識別ランプ（積算電力量／kW・h）が点灯します。
- 総積算電力量が99999（kW·h）を越えると0に戻ります。

ユーザー積算電力量

1回押す

ユーザー積算電力量のリセット（17ページ）を行ってから現在までの発電電力量（積算値）を表示します。

- 最上位桁が「U.」と表示されます。
- ユーザー積算電力量が9999（kW·h）を越えると0に戻ります。

発電電力表示に戻る

表示切換 を押さなくても5秒後に発電電力表示に戻ります。

メモ

- ディスプレイに表示される電力（kW）や電力量（kW・h）、時間（h）の値は目安です。
- 表示切換 を押して表示を切り換えるときは、1 度押すごとに表示内容が切り換わっていることを確認してください。
- 約５秒間何も操作をしないと発電電力の表示に戻ります。
- 夜間（発電していないとき）に停電中のときは 表示切換 を押してもディスプレイに何も表示されません。

ユーザー積算電力量をリセットする

ユーザー積算電力量をリセットして積算値を0kW・hに戻します。ユーザー積算電力量のリセット操作を行うと、リセットしたときからの発電電力量の合計がユーザー積算電力量として表示されます。
ディスプレイにユーザー積算電力量を表示しているときに操作します。

1 **表示切換 を数回押してユーザー積算電力量を表示します。（16ページ）**

最上位桁が「U.」と表示されます。

2 **表示切換 を5秒以上押し続けます。**

ユーザー積算電力量がリセットされ、表示が「U. 0」に変わります。

「0」が表示されたときから電力量の積算を開始します。

5秒後に発電電力表示に戻ります。

5秒以上押し続ける

メモ

- ユーザー積算電力量のリセットを行うと、それまでのユーザー積算電力量のデータは失われます。ユーザー積算電力量のリセットは月末などの一定時期に限定して行い、リセット操作を行う前にメモなどに控えていただくことをお勧めします。
- ユーザー積算電力量のリセットを行っても「総積算電力量」はリセットされません。

こんな症状が出たときは

パワーコンディショナが動作しないなど、動作に不具合が発生したときは、次の内容を確認して対処してください。

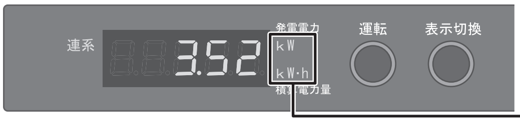
症状	対処のしかた
運転スイッチを「オン」にしてもすぐに運転しない。	太陽電池の発電量が不足しています。日照量が増えると運転を開始します。
連系ランプが点灯しない。	運転スイッチを確認し、「オフ」になっていれば、「オン」にしてください。（11ページ）
自立運転用コンセントに接続した機器が動かない。	パワーコンディショナ専用ブレーカーが「オン」になっていれば、「オフ」にしてください。（25ページ）
	運転スイッチを確認し、「オフ」になっていれば、「オン」にしてください。（13ページ）
	パワーコンディショナから供給する電力が不足している場合は、接続している機器を減らしてください。（14ページ）
晴れているのに発電しない。	自立運転になっている可能性があります。（自立ランプ点灯） 自立運転の必要がなければ、自立運転から連系運転に切り替えてください。（15ページ） 自立運転中は、自立運転用コンセントに接続されている機器が消費している電力を表示します。
表示部の「kW」または「kW･h」のランプ(緑)が点滅している。	電圧上昇抑制機能がはたらいています。 電圧上昇抑制機能については、19ページをご参照ください。
表示部にエラーコードを表示して、動作しない。	まずパワーコンディショナの再起動をしてください。（24ページ） エラーが解消されれば運転を再開します。エラーコードの内容と対処法については、21～23ページをご参照ください。
夜間に表示切換スイッチを「オン」にしても電圧上昇抑制積算時間、総積算電力量、ユーザー積算電力量を表示しない。	パワーコンディショナ専用ブレーカーを確認し「オフ」になっていれば、「オン」にしてください。

こんな表示が出たときは

抑制状態表示について

電圧上昇抑制機能

運転中に電力会社から供給されている電気の電圧が高くなった場合に、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えている状態です。



電圧上昇抑制機能がはたらいた場合、電力表示識別ランプを緑色で点滅表示します。

メモ

この表示が頻繁に表示される場合は、修理ご相談窓口（28ページ）にご連絡ください。

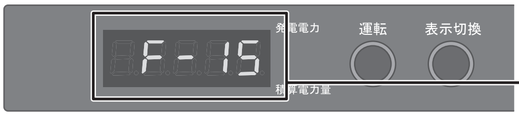
- ●電圧上昇とは

  朝夕食時など、多くの家庭が一斉に水道の水を使うと水圧が下がり水の流れが弱くなるように、電力会社から供給されている電気も、多くの家庭が一斉に電気を使うと電力会社で規定された範囲内で電圧が低くなったり、逆に電気の使用量が減ると電圧が高くなったりすることがあります。
  一方、水が水位の高い所から低い所に流れるように、電気も電圧の高い所から低い所に流れるため、電力会社へ売電する場合、パワーコンディショナの出力電圧は電力会社側の電圧よりも高くなります。
  このことから、電力会社側の電圧が高くなったときに売電する場合は、パワーコンディショナの出力電圧もさらに高くなります。
  このような様々な要因が重なりパワーコンディショナの出力電圧が高くなりすぎると、ご家庭内の電気機器の破損、寿命低下を引き起こす恐れがあるため、パワーコンディショナは出力電圧を監視し設定電圧値以上高くならないように出力を一時的に抑制する保護機能を備えています (電圧上昇抑制機能)。
  電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧値は予め連系協議の際に電力会社が決定しています。
- ●ディスプレイに電圧上昇抑制積算時間を表示しているときは、電圧上昇抑制機能がはたらいていても電力表示識別ランプは消灯しています。

エラー表示について

太陽光発電システムでエラーが発生したときは、ディスプレイにエラーコード（アルファベットと2桁の数字）を表示してお知らせします。
エラーコード一覧表（21～23ページ）の内容に基づいて操作などを行ってください。エラーコード一覧表に記載が無い場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（28ページ）にご相談ください。

エラー発生時のディスプレイの表示



エラーコード
現在発生しているエラーが点滅表示します。

「d-XX」（２１ページ）
パワーコンディショナに異常が発生したときに表示します。

「E-XX」（２２ページ）
停電や、パワーコンディショナの運転が一時的に不安定になったときに表示します。

「F-XX」（２３ページ）
停電など、電力会社からの供給電力に異常が発生したときに表示します。

「P-XX」（２３ページ）
太陽電池モジュールの出力電力が規定値を超えたときに表示します。

※「d-XX」などエラーコード表記の「XX」の部分には番号が表示されます。

メモ

- エラー発生により修理相談窓口にご連絡いただく際には、エラーコード（アルファベットと 2 桁の数字）をご確認の上、ご連絡ください。
- エラーが複数個発生している場合は、エラーコードを一度に表示できないため、左にスクロールさせて表示します。（エラーが継続している間、連続して表示します。）
  例）d-20とE-33のエラーが発生した場合

  d-20 ⟶ d-20 •••> 0 E-3 ⟶ E-33 •••> d-20
  0.5秒ごとに
  左へシフト
- 表示部の電力表示識別ランプ（kWまたはkW・h）が点滅しているときは、電圧上昇抑制機能がはたらいています。（19ページ）

エラーコード一覧

「d-XX」という表示の場合

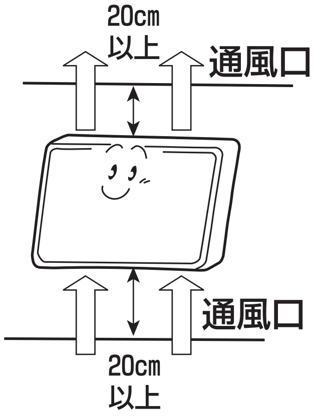
パワーコンディショナに異常を検出しました。安全のため、パワーコンディショナの運転を停止しています。

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>エラーコードの意味</th><th>対処のしかた</th></tr>
<tr><td>d -20</td><td>パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、回路を保護するため温度ヒューズが切れた可能性があります。</td><td rowspan="7">パワーコンディショナを再起動してください。(24ページ)
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(28ページ)</td></tr>
<tr><td>d -21</td><td>パワーコンディショナの出力側に過電流が流れた可能性があります。</td></tr>
<tr><td>d -22</td><td>パワーコンディショナの出力電流波形に異常を検出しました。
商用電源の電圧が一時的に不安定になった可能性があります。</td></tr>
<tr><td>d -23</td><td>パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています。</td></tr>
<tr><td>d -25</td><td>パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります。</td></tr>
<tr><td>d -26</td><td>パワーコンディショナ内部にある入力回路に異常がおきた可能性があります。</td></tr>
<tr><td>d -28</td><td>パワーコンディショナの内部電圧に異常がおきた可能性があります。</td></tr>
<tr><td>d -40</td><td>パワーコンディショナの内部メモリに異常が発見されました。</td><td>エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(28ページ)</td></tr>
<tr><td>d -41</td><td rowspan="3">パワーコンディショナの内部メモリに異常がおきた可能性があります。</td><td rowspan="9">パワーコンディショナを再起動してください。(24ページ)
それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡ください。(28ページ)</td></tr>
<tr><td>d -42</td></tr>
<tr><td>d -43</td></tr>
<tr><td>d -60</td><td rowspan="6">パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります。</td></tr>
<tr><td>d -61</td></tr>
<tr><td>d -62</td></tr>
<tr><td>d -63</td></tr>
<tr><td>d -64</td></tr>
<tr><td>d -65</td></tr>
</table>

温度上昇抑制機能について

エラーコード「d -23」が表示されているときは、パワーコンディショナ内部の温度が高くなったため、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えている状態です。

パワーコンディショナの周辺は、パワーコンディショナ内部の換気のため、右の図のとおりのスペースを確保してください。



メモ

この表示が頻繁に表示される場合は、修理ご相談窓口（28ページ）にご連絡ください。

「E-XX」という表示の場合

パワーコンディショナの運転が一時的に不安定になりました。安全のため、パワーコンディショナの運転を一時的に停止しています。

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
E-32	自立運転用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続機器を減らしてください。（自立運転時に検知）	自立運転用コンセントに接続された機器を減らしてください。
E-50	パワーコンディショナ内部の回路に異常がおきた可能性があります。	しばらくそのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。運転を再開しない場合は、パワーコンディショナを再起動してください。（24ページ）
E-51		
E-52		

「F-XX」という表示の場合

停電など商用電源の異常のため、パワーコンディショナの運転を停止しました。
停電時には、太陽光発電システムで発電した電力を商用電源に売る（連系運転）ことができません。
そのため、パワーコンディショナが自動停止し、電源復帰を待っています。
自立運転を開始すると、太陽光発電システムで発電した電力を自立運転用コンセントで使用することができます。
自立運転を開始する場合は、自立運転を開始する（13ページ）を参照してください。
停電ではないのに10分以上この表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口へご連絡下さい。（28ページ）

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
F-00	商用電源の電圧が上昇しています。	商用電源の異常が回復すると自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ち下さい。 停電ではないのに約10分以上表示が変わらない場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡下さい。（28ページ）
F-01	商用電源の電圧が低下しています。	
F-02	商用電源の周波数が上昇しています。	
F-03	商用電源の周波数が低下しています。	
F-04	商用電源の電圧が高くなっています。	
F-05	商用電源の停電を検出しました。（電源電圧の位相変動を検出）	
F-06	商用電源の停電を検出しました。（周波数シフト方式による出力周波数低下を検出）	
F-09	商用電源が停電、もしくは商用電源の周波数が大幅に高くなっています。	
F-15	商用電源の停電を検出しました。	
F-16	商用電源の電圧が74V以下になっています。	

「P-XX」という表示の場合

太陽電池パネルの出力電圧が規定値を超えたため、パワーコンディショナの運転を停止しました。

エラーコード	エラーコードの意味	対処のしかた
P-11	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています。	外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えて修理ご相談窓口にご連絡下さい。（28ページ）

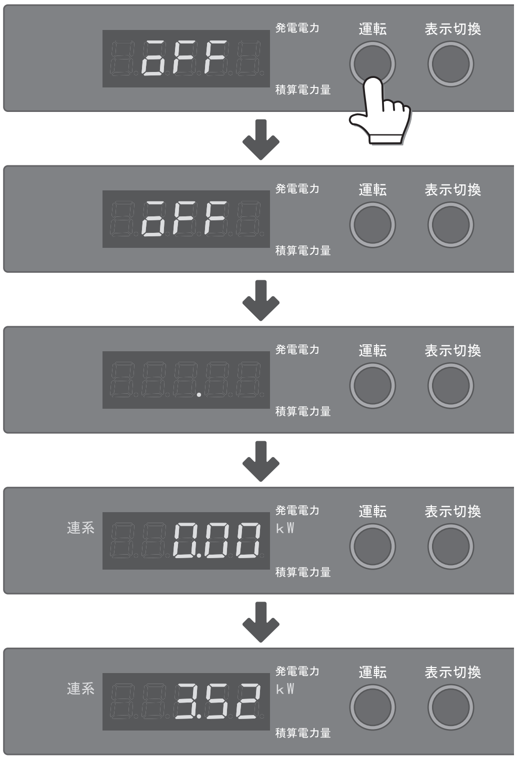
パワーコンディショナを再起動する

パワーコンディショナの再起動が必要な場合、次の操作で再起動します。
パワーコンディショナの再起動は、太陽光発電が行われているとき（日中）のみ行うことができます。

1 (運転)を押して「オフ」にします。

2 (運転)を押して「オン」にします。

しばらくすると、パワーコンディショナの運転を開始します。



過去のエラーの確認方法

運転スイッチが 「オフ」のときに (表示切換) を押すと、エラー履歴をディスプレイに表示します。

- ●2秒ごとに、最新のエラーから発生の順に番号とエラーコードを表示します。
- ●エラーコードは、d-20の場合、「d20」のように、ハイフンを省略して表示されます。
- ●エラーの履歴は、最大50個表示します。発生したエラーが50個を超えると、古い順に消去されます。

(例)過去に、d-20エラーと、E-33エラーと、F-15エラーが発生した場合

1. d20 ⟶ 2. E33 ⟶ 3. F15 ⟶ off

2秒ごとに
次のエラーを表示

エラー履歴がない場合は、1. --- を表示します。

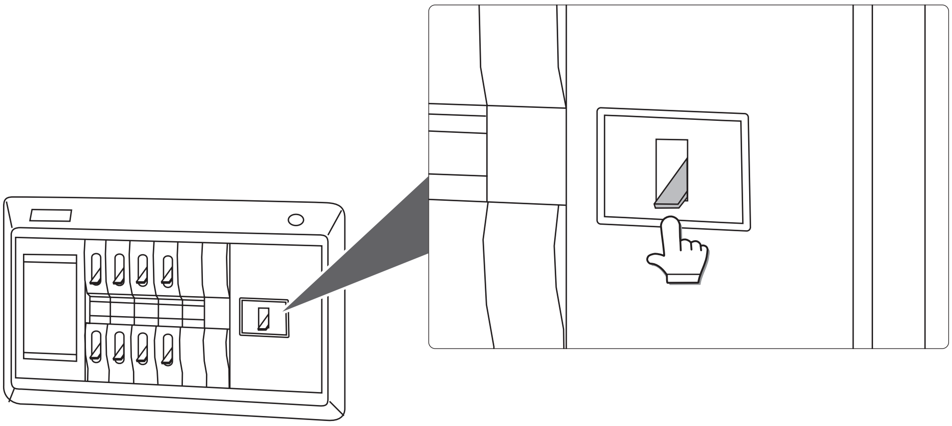
パワーコンディショナを緊急停止する

万一、煙が出たり、変な音やにおいがしたりなど異常が発生した場合は、次の操作を行いパワーコンディショナを緊急停止してから、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（28ページ）にご連絡ください。

1 運転 を押して「オフ」にします。

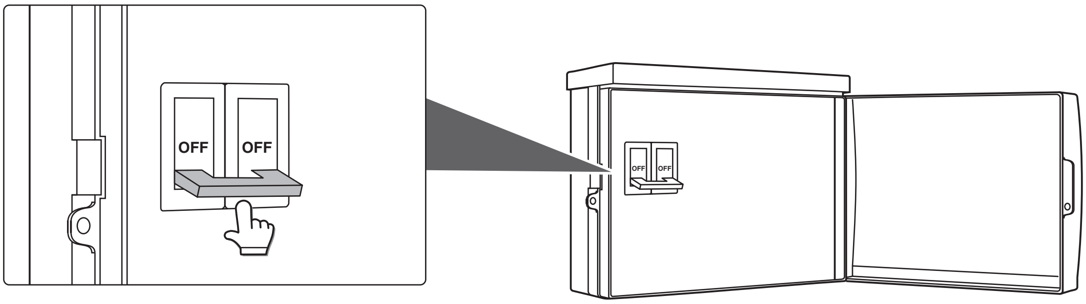
2 分電盤の中にあるパワーコンディショナ専用ブレーカーを「切」にします。

ブレーカーの位置を確認し正しいブレーカーをお切りください。



3 接続箱の中にあるブレーカーを「切」にします。

接続箱左端のビスをゆるめて表面カバーを開き、内部のブレーカー（主開閉器）をお切りください。
表面カバーを閉めるときは、確実に閉めた後、開かないようにビスを締めてください。



4 「お買い上げの販売店」または「修理ご相談窓口」（28ページ）までご連絡ください。

停電したときは

電力会社の停電などによって外部からの電力供給が無くなった場合、パワーコンディショナの運転は停止し、ディスプレイにエラーコードを表示します。（夜間を除く）
停電が回復後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。

1：停電が発生したとき

停電が発生し電力会社から電気の供給が止まるとパワーコンディショナの運転を停止し、ディスプレイにエラーコードを表示して停電が発生したことをお知らせします。

停電時のディスプレイの表示

停電が発生したことをエラーコードで表示します。
停電の場合は「F-15」と表示されます。

2：停電が回復すると

停電が回復後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。

停電時に太陽光発電の電気を使用することができます。

停電中に自立運転モードに切り替えると太陽光発電で発電した電気を使用することができます。自立運転の注意事項をよくお読みになってご使用ください。（14ページ）
停電が回復したときは、連系運転モードに切り替えてください。（15ページ）

ご注意

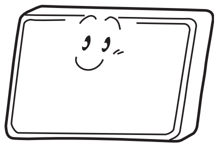
自立運転モードで自動停止した翌朝に停電が回復していない場合、日の出を迎えても自動的には運転を開始しません。翌朝に停電が回復している場合、自動的に連系運転を開始します。
連系運転モードに切り替えるときは、自立運転用コンセントで使用している電気機器を止めてください。

お手入れのしかた

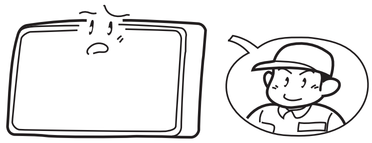
住宅用太陽光発電システムを長年ご使用いただくため、次の要領でお手入れをお願いします。
ただし、太陽電池モジュールは、屋根の上など高所に設置されることが多く、点検やお手入れは特に危険ですので、お買い上げの販売店までご相談ください。なお、点検やお手入れに要する費用はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れの際のご注意

お手入れの際は、必ず運転を押して「オフ」にし、分電盤の中にあるパワーコンディショナ専用ブレーカーと、接続箱内のブレーカーを「切」にして、パワーコンディショナの運転を止めてください。（25ページ）



連続運転のままでのお手入れは危険です。
日常のお手入れ（パワーコンディショナ本体通風口のほこり取り、表面の清掃）以外は、お買い上げの販売店に依頼してください。

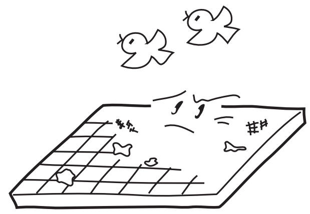


汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

点検

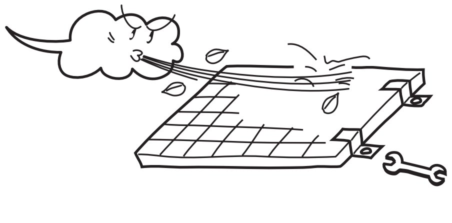
太陽電池モジュールのガラス表面の清掃

通常の汚れは、発電には問題ありませんが、鳥のふん、火山灰、油煙などがつき、ガラス表面が著しく汚れた場合は、発電効果が低下して、発電量が少なくなります。この場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



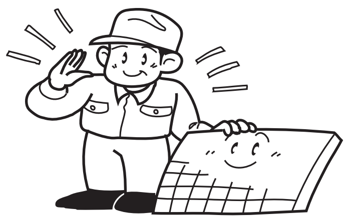
台風シーズンの前後に

台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかお買い上げの販売店にご相談ください。



保守・メンテナンス

住宅用太陽光発電システムは、定期的な点検を行うことをおすすめします。メンテナンスの内容については、お買い上げの販売店にご相談ください。



お問い合わせは

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、お買い上げの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
ＦＡＸ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶ パソコン　シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178
携帯・PHS OK
携帯電話・ＰＨＳからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜:**９：００～１８：００**
●日曜・祝日:**９：００～１７：００**
（年末年始を除く）

■ＩＰ電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043-351-1821　FAX：043-299-8280	
西日本相談室	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06-6792-1582　FAX：06-6792-5993	

修理のご相談など

※「部品購入」をご希望の方は、枠外の〈補足①〉をご覧ください。

【修理相談センター】（沖縄地区を除く）

0570 - 02 - 4649
携帯OK
全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜:**９：００～２０：００**
●日曜・祝日:**９：００～１８：００**
（年末年始を除く）

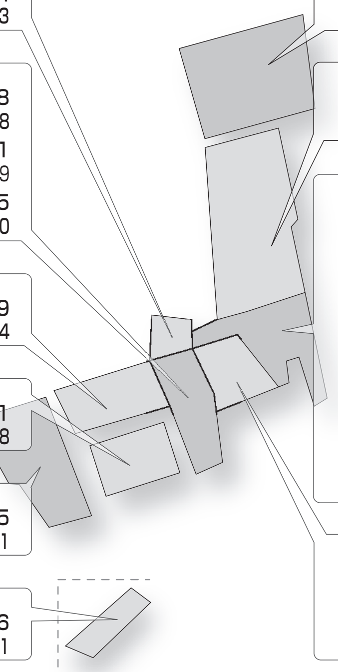
■〈ＰＨＳ・ＩＰ電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄地区の方〉は…

	ＰＨＳ／ＩＰ電話	ファックス
東日本地区	043-299-3863	043-299-3865
西日本地区	06-6792-5511	06-6792-3221
沖縄地区	「那覇サービスセンター」098-861-0866(月～金 9：00～17：30)	

補足① 部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

■受付時間　＊月曜～土曜：**９：００～１７：４０**（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄地区〕は……＊月曜～金曜：**９：００～１７：４０**（祝日など弊社休日を除く）



北陸地区
- **金　沢**サービスセンター：076-249-2434
  〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

近畿地区
- **京　都**サービスセンター：075-672-2378
  〒601-8102　京都市南区上鳥羽管田町48
- **大　阪**テクニカルセンター：06-6794-5611
  〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
- **阪　神**サービスセンター：06-6422-0455
  〒661-0981　兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10

中国地区
- **広　島**サービスセンター：082-874-8149
  〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4

四国地区
- **高　松**サービスセンター：087-823-4901
  〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

九州地区
- **福　岡**テクニカルセンター：092-572-4705
  〒816-0081　福岡市博多区井相田2-12-1

沖縄地区
- **那　覇**サービスセンター：098-861-0866
  〒900-0002　那覇市曙2-10-1

北海道地区
- **札　幌**サービスセンター：011-641-4685
  〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17

東北地区
- **仙　台**サービスセンター：022-288-9142
  〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27

関東地区
- **宇都宮**サービスセンター：028-637-1179
  〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
- **さいたま**サービスセンター：048-666-7987
  〒331-0812　さいたま市北区宮原町2-107-2
- **東　京**テクニカルセンター：03-5692-7765
  〒114-0013　東京都北区東田端2-13-17
- **多　摩**サービスセンター：042-586-6059
  〒191-0003　日野市日野台5-5-4
- **千　葉**テクニカルセンター：047-368-9840
  〒270-2231　松戸市稔台6-6-1
- **横　浜**テクニカルセンター：045-753-4647
  〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23

東海地区
- **静　岡**サービスセンター：054-344-5781
  〒424-0067　静岡市清水鳥坂1170-1
- **名古屋**サービスセンター：052-332-2623
  〒454-8721　名古屋市中川区山王3-5-5

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.5）

アフターサービスについて

補修用性能部品について

当社は、この住宅用太陽光発電システムの補修用性能部品を、製造打切後、10年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
なお、移設に要する費用は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときには

パワーコンディショナのエラー表示をご確認の上、分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを「切」にし、運転を停止した後、お買い上げ販売店もしくは修理ご相談窓口（28ページ）に修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

転居や廃棄されるときは

この住宅用太陽光発電システムをご転居などにより別の場所に移される場合、もしくは廃棄される場合は、有資格者による電気工事が必要で、また電力会社との協議が必要となる場合がありますので必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、移設や廃棄に要する費用は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書

製品の保証

● このシステムは、保証書（31ページ）がついています。
保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

● 保証期間は、お買い上げの日から1年間といたします。
ただし太陽電池モジュールの出力は、最大出力の下限値（最大出力の公称値の90%）の90%までを、10年間保証いたします。

（例）

形名	ND-160AV
最大出力の公称値	160W
最大出力の下限値	144.0W
最大出力の下限値の90%	129.6W

※測定条件：放射照度1000W／m^2、モジュール温度25℃

● 保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または当社サービス会社が修理いたします。
くわしくは保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店、または、もよりのシャープお客様ご相談窓口（28ページ）にお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

シャープ住宅用太陽光発電システム

製　品　保　証　書

お買い上げいただきました「住宅用太陽光発電システム」を構成する機器につきましては下記のとおり保証いたします。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書を提示ください。
お買い上げ年月日、販売店名などに記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買い上げ販売店にお申し出ください。なお、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております当社の「お客様ご相談窓口一覧表」をご覧のうえ、もよりの当社サービス会社にお問い合わせください。本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

- 太陽電池モジュール形名 ＿＿＿＿＿＿＿＿
- パワーコンディショナ形名 ＿＿＿＿＿＿＿＿（製造番号：＿＿＿＿＿＿）
- 保証期間　**システムを構成する機器は1年間。太陽電池モジュールは最大出力の下限値の90%までの出力保証を10年間。**
- お買い上げ日　＿＿年＿＿月＿＿日

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	
取扱販売店名・住所・電話番号・代表者名		印

□お客様へのお願い
お手数ですが、お名前、ご住所、電話番号をわかりやすくご記入ください。
修理などについてのお問合わせはお買い上げ販売店へご用命ください。
□ご販売店様へのお願い
お買上年月日、太陽電池モジュール形名、パワーコンディショナ形名、製造番号〔定格銘板ラベル（P9参照）に記載〕、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様にお渡しください。

シャープ株式会社
〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話　06（6621）1221（大代表）

保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、保証書を提示ください。お買い上げ年月日、販売店名などに記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買い上げ販売店にお申し出ください。なお、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、製品に同梱しております当社の「お客様ご相談窓口一覧表」をご覧のうえ、もよりの当社サービス会社にお問い合わせください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

＜無料修理規定＞

1．設置工事マニュアル、取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は有料とさせていただきます。

2．保証する内容および保証期間は次のとおりです。
① 製品の受け渡し完了後1年以内に、規格に適合しない隠れたる瑕疵が発見された製品については、当該商品の修理または代替品の納入（以下修理交換等という）をいたします。
② 製品の受け渡し完了後10年以内に、規格に定めた太陽電池モジュール（以下モジュールという）の出力が、最大出力の下限値（公称最大出力の90％）の90％を下回った場合、当該モジュールの修理交換等をいたします。この場合、同等構造のモジュールにて不足出力を補充する場合もございます。

3．製品のご使用にさいしては、次の事項をご了承願います。
① 製品の性能、仕様、条件、設置工事方法等は、設置工事マニュアル、取扱説明書、システム仕様書、図面等（以下総称して規格という）に定めております。
② お客様には、規格に適合した商品の使用・設置をしていただきます。
③ 製品が規格に適合していない旨当社に通知された場合は、当社にて規格に記載された条件で検査いたします。規格に適合していない場合は修理交換等を行い、適合している場合は当該製品を返却し、これに要した費用は販売店またはお客様に負担していただきます。
④ お客様の販売店が当社の定める範囲を超えて品質保証を行った場合、その超えた部分の保証に対しては、当社は一切責任を負いませんのでご了承願います。
⑤ お客様に販売した後のアフターサービスは、お客様の販売店がこれを行ないます。なお、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、製品に同梱しております当社の「お客様相談窓口一覧表」をご覧のうえ、もよりの当社サービス会社にお問い合わせください。
⑥ 規格に適合しない設置、修理、変更等の工事を実施した場合、当該工事に起因してお客様または第三者に生じた損害については、当社は一切責任を負いませんのでご了承願います。

4．次の免責事項に該当する場合は、如何なる場合においても品質保証の対象外とし、当社は責任を負いませんのでご了承願います。
① 製品の構造、性能および品質に影響を及ぼす当社が関与しない設置、増設、変更および補修に起因するもの。
② 系統連系している商用電源のノイズ、電圧変動等などの品質等に起因するもの。
③ 規格に示された設置工事、取扱い方法、注意事項等を遵守しなかったことに起因するもの、または通常の使用方法と異なる使用・管理等に起因するもの、あるいは製品の用途・使用条件・使用環境等を超えて使用したことに起因するもの。
④ 火災、爆発、戦争、暴動等の外来事故、または地震、噴火、津波、暴風雨、落雷（直雷）、積雪、凍結等の自然現象に起因するもの。
⑤ 製品の据え付け場所周辺にわたる地盤の変動、地割れ、土砂崩れ、またはその他の異常な周囲環境、公害等、あるいは製品を設置した後に設置場所またはその周辺環境の変化に起因するもの。
⑥ お客様または第三者の故意、または過失によるもの。
⑦ お客様が採用したり、または採用させた材料、部品、機器、設置工事方法等で、当社が事前に承諾していないものに起因するもの。
⑧ 製品の受け渡し後の外観上の傷、汚れ等、または製品の瑕疵によらない製品の自然の機械的摩耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由によるもので、製品の基本性能動作（発電機能）に影響を与えないもの。なお、軽微なさびで製品の構造、機械的強度等に影響を与えないものも同様とする。
⑨ 製品のお客様への販売時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた事故によるもの。
⑩ 品質保証期間経過後に当社に申し出があったもの、または品質保証該当事項の発生後速やかに申し出がなかったもの。
⑪ その他当社の責に帰すべき事由によらないもの。

5．保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
① 本書のご提示がない場合
② 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
③ 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
④ 火災・公害・地震および風水害その他の天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。
⑤ 消耗品が損耗し取り替えを要する場合
⑥ 当社の無料修理規定の免責事項に該当する場合で、お客様が当社に修理を要望される場合。

6．保証書は日本国内においてのみ有効です。

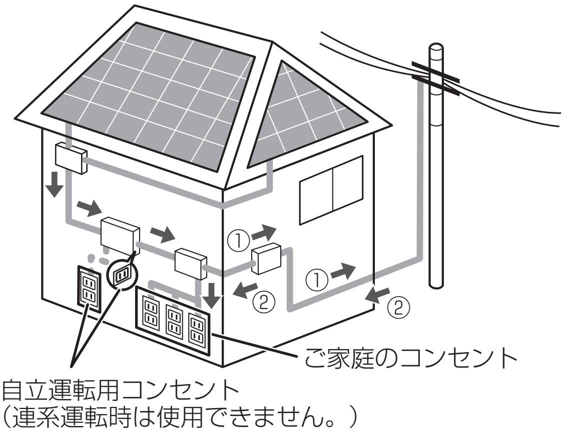
● 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいまして、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買い上げの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合せください。

用語集

用　　語	意　　味
kW（キロワット）とkWh（キロワットアワー）	「電力（kW）と電力量（kWh）」（下記）を参照してください。
セル／モジュール	セルとは、太陽電池の基本単位です。 セルを複数枚配列し、屋外で利用できるように強化ガラスで覆い、パッケージ化したものをモジュールといいます。 太陽光発電は通常モジュールを複数枚、直列あるいは並列に配列し、屋根の架台に設置しています。
パワーコンディショナ専用ブレーカー	太陽光発電専用のブレーカーです。商用電源からパワーコンディショナを電気的に切り離す役割をします。
運転モード	パワーコンディショナの運転形式です。電力会社と連系し売電／買電を行う**「連系運転モード」**と、停電時に使用する**「自立運転モード」**があります。
系統連系	日中に発電し余った電力を電力会社に売ります。夜間などに不足する電力を電力会社から購入します。このように電力会社から送られてくる電力と連系してご家庭の消費電力をおぎなうしくみのことです。
交流	電力会社からご家庭のコンセントにきている電気が交流です。
再起動	エラーを解除しパワーコンディショナを再び起動させることです。
自立運転	電力会社からの電力とは連系せず、自立して運転する事です。これにより日射が有れば停電時でも電気機器を使用できます。
自立運転モード	自立運転を行うための運転モードです。
自立運転用コンセント	自立運転時に電気機器を使用するコンセントです。自立運転時のみ使用することができます。
商用電源（単相三線式）	電力会社からご家庭に供給される交流電源のことで、家庭用では単相交流100V（50/60Hz）が一般的です。 交流にはいくつか種類があり、ご家庭に引き込まれているものを単相交流といい単相三線式という形になっています。
消費電力	ご家庭で冷蔵庫やテレビなどの電気機器を使用し消費している電力です。
総積算電力量	設置してから現在までの発電量の合計です。
太陽電池モジュール	太陽の光のエネルギーを直接電気エネルギーに変換する機器です。
直流	太陽電池で発電される電気が直流です。
電力（kW）と電力量（kWh）	電力は、時々刻々変化するある瞬間における値です。単位は**「kW」（キロワット）**で表します。電力量は、時々刻々変化する電力のある期間の合計値です。単位は**「kWh」（キロワットアワー）**で、例えば2kWの電気を3時間使い続けた場合、 2（kW）×３（h）＝６（kWh）の消費電力量となります。 詳しくは、「電力と電力量」（6ページ）を参照してください。
発電電力	太陽光発電システムで発電した電力のことです。
連系運転	商用電源と系統連系して運転する事です。これにより電力会社と売電／買電する事ができます。
連系運転モード	連系運転を行うための運転モードです。

連系運転時

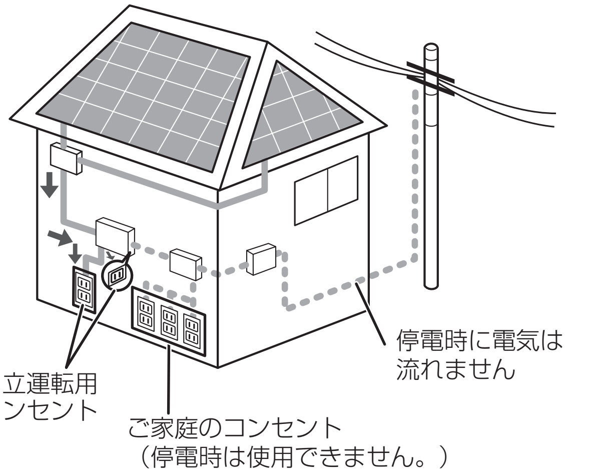
商用電源と系統連系して自動運転します。
連系運転時は特に操作する必要はありません。



①：発電電力が消費電力より大きいとき余った電気を電力会社に売ります。**→売り電力（売電）**
②：発電電力が消費電力より小さいとき不足分を電力会社から買います。**→買い電力（買電）**

自立運転時（停電時）

商用電源と系統連系せずに発電した電力を直接使用します。
停電時に使用します。



→ 電気の流れ　　- - - - 電気は流れません

索引

数字
1日の運転状態 10

あ
アース 4, 8, 9

う
売電 7
運転スイッチ 9

え
エラー表示 20
エラーコード一覧 21

お
お客様ご相談窓口 28
お客様相談センター 28
屋内分電盤 4, 5
お手入れのしかた 27

か
買電 7

け
警告・注意ラベル 9

し
住宅用太陽光発電システム 4
修理相談センター 28
仕様 .... 別刷
自立運転から連系運転に切り替える 15
自立運転モード 12
自立運転モードの注意点 14
自立運転用コンセント 9, 12
自立運転を開始 13
自立運転を停止 14
自立ランプ 9, 13

せ
積算電力量 16
接続箱 4, 8, 25

た
太陽電池モジュール 4

て
定格銘板ラベル 9
停電したとき 26
ディスプレイ 9
電圧上昇抑制 19
電力表示識別ランプ 9
電力量計 5
点検 27

は
パワーコンディショナ 4, 9
パワーコンディショナ専用ブレーカー 25
パワーコンディショナの再起動 24
パワーコンディショナを緊急停止する 25

ひ
表示
- 運転モード 10
- 総積算電力量 16
- 電圧上昇抑制積算時間 16
- 発電電力 16
- ユーザー積算電力量 16
- 抑制状態表示 19

表示切換スイッチ 9, 16

ほ
保証 30
保証書 31
本書の見かた .... 表紙裏

よ
用語集 33

れ
連系運転モード 10
連系運転を開始 10
連系運転を停止 11
連系ランプ 9, 10

メモ

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

住宅用太陽光発電システム

この製品は、こんなところがエコロジークラス

創エネ **太陽の光から電気をつくる**

屋根に設置した太陽電池モジュールで電気をつくります。電気をつくるときに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないため、環境保護に貢献できます。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶ パソコン　シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■ＩＰ電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電話	ファックス
東日本相談室→	043-351-1821	043-299-8280
西日本相談室→	06-6792-1582	06-6792-5993

受付時間　●月曜～土曜：9：00～18：00　●日曜・祝日：9：00～17：00　（年末年始を除く）

修理のご相談など

【修理相談センター】（沖縄地区を除く）

0570 - 02 - 4649

携帯OK

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄地区の方〉は…

	PHS／IP電話	ファックス
東日本地区→	043-299-3863	043-299-3865
西日本地区→	06-6792-5511	06-6792-3221
沖縄地区→	「那覇サービスセンター」098-861-0866（月～金 9：00～17：30）	

受付時間　●月曜～土曜：9：00～20：00　●日曜・祝日：9：00～18：00　（年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2008.5）

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
ソーラーシステム事業本部　〒639-2198　奈良県葛城市薑(ハジカミ)282番1

この取扱説明書は環境に配慮した植物性大豆油インクを使用しています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

TiNSJ0491SNZZ
LN6BTS1
08D10.0-K

取扱説明書　追補版（仕様）

住宅用太陽光発電システム構成機器表

代表システム

システム名称	LN320-ND160AV	LN432-ND160AV	LN512-ND160AV
太陽電池容量	3.20kW	4.32kW	5.12kW
太陽電池モジュール	ND-160AV×20	ND-160AV×27	ND-160AV×32
パワーコンディショナ	JH-S6A2	JH-L6A3	JH-L6A3
ケーブル	SZ-UC20×2	SZ-UC20×3	SZ-UC20×3

※ここに挙げましたシステム以外にも様々なシステム構成が可能です。
※太陽電池容量は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値です。
※パワーコンディショナの欄は対応できる機種名を記載しています。
※上表以外のシステム構成機器、太陽電池容量は下表の通りです。

構成機器仕様

太陽電池モジュール仕様

太陽電池セルタイプ	形　名	公称最大出力（W）	公称最大出力動作電圧（V）	公称最大出力動作電流（A）	質　量（kg）	外形寸法（mm）
単結晶	NU-165AT	165	20.56	8.03	14.5	1165×990
多結晶	ND-191AV	191	24.31	7.86	16.0	1318×1004
	ND-160AV（AVL）	160	21.28	7.52	14.5	1165×990
	ND-155LT	155	20.27	7.65		
	ND-153AU	153	20.30	7.54		
	ND-142CU	142	19.92	7.13		
	ND-071LU（RU）	71	9.96	7.13	10.5	1165×990※1
	ND-114CV（CVL）	114	15.16	7.52	11.0	990×856
	ND-061LV（RV）	60.5	8.05	7.52	8.5	990×856※1
	ND-061LVL（RVL）	60.5	8.05	7.52		
	NE-132AT	132	26.41	5.00	12.5	1200×802
	NE-100CT（CQ）	100	20.38	4.91	9.9	945×802
	NE-050LT（RT）	50	10.19	4.91	7.2	945×802※1
	NE-050LQ（RQ）	50	10.19	4.91		
	NE-53K1R	52.5	10.70	4.91	7.8	1535×280※2
	NE-38K1R	38	7.74	4.91	6.5	1228×280※2
	NE-53Y1R	52.5	10.70	4.91	8.8	1515×330※2
	NE-38Y1R	38	7.74	4.91	7.2	1212×330※2

（表記の数値は、JIS C8918で規定するAM1.5、放射照度　1000W／m^2、モジュール温度　25℃での値です。）
※1　五角形　　※2　働き寸法
※上記太陽電池モジュールは代表例です。詳しくは、販売店にご相談ください。

パワーコンディショナ仕様

形名		JH-S6A2	JH-L6A3	JH-S512	JH-S623/S513	JH-L513	JH-L624/L514	JH-L625/L515	JH-G624/G514	JH-M801
設置場所	本体	屋外								屋内
	リモートコントローラ	屋内								−
	センサーユニット	屋内								−
接続箱機能の有無		内蔵								−
入力回路数		2回路	3回路	2回路	3回路		4回路	5回路	4回路	1回路
定格入力電圧		DC240V		DC200V						DC250V
入力動作電圧範囲		DC80～350V								DC100～370V
最大入力電圧		DC380V								DC370V
定格出力電圧		連系時：AC202V、自立時：AC101V								
定格出力周波数		50Hz／60Hz								
定格出力	連系運転時	3kW	4.5kW	3kW		4.5kW			5.5kW	4kW
	自立運転時	1.5kW※1								
定格電力変換効率		94.5%※2	94%※2	91%※2						94.5%
出力基本波力率		0.95以上（定格の1/8～定格）								
出力電流ひずみ率		総合電流ひずみ率5%以下、各次調波3%以下（定格出力電流比）								
動作温度	本体	−20～+40℃	−20～+40℃※3	−20～+40℃						−10～+40℃※4
	リモートコントローラ	0～+40℃								−
	センサーユニット	−10～+40℃								−
外形寸法	本体※5	560(W)×408(H)×177(D)mm	637(W)×408(H)×177(D)mm	560(W)×410(H)×221(D)mm		698(W)×410(H)×221(D)mm				460(W)×280(H)×117(D)mm
	リモートコントローラ	170(W)×134.5(H)×28(D)mm								−
	通信ケーブル	20m								−
	センサーユニット	40(W)×95(H)×75(D)mm								−
質量	本体※5	26kg	29kg	24kg	26kg	29kg	32kg	34kg	32kg	14kg
	リモートコントローラ	0.5kg								−
	センサーユニット	0.2kg※6								−

※1 力率1.0の場合　※2 接続箱機能含む
※3 周囲温度が35℃以上の場合、保護機能によりパワーコンディショナの出力を抑制することがあります。
※4 周囲温度が30℃以上の場合、保護機能によりパワーコンディショナの出力を抑制することがあります。
※5 取付け金具を含む　※6 CT部含まない

主回路方式（全機種共通）

主回路方式		
パワーコンディショナ方式	連系運転時：電圧型電流制御方式 自立運転時：電圧型電圧制御方式	
スイッチング方式	PWM（パルス幅変調）方式	
絶縁方式	高周波絶縁トランス内蔵方式	非絶縁トランスレス方式
電気方式	単相二線式（単相三線式配電線に連系）	
保護方式		
連系保護	系統不足電圧、系統過電圧、系統周波数低下、系統周波数上昇	
単独運転検出	受動的方式、能動的方式	

接続箱仕様（JH-M801用）

接続箱形名		SZ-41JB
設置場所		屋外
最大入力電圧		DC370V
入力	回路数	4回路
	定格電流	7.4A/回路※
外形寸法		幅387×高さ295×奥行130mm
材質		AES樹脂
使用温度		−10℃～+40℃

※3回路入力(P1N1、P3N3、P4N4端子）として使用する場合は8.1A/回路となります。

TiNSJ0222SNZZ-A
LN6BTS1
06G10.0-K